



5 ヨツボシトンボ

約 45 mm

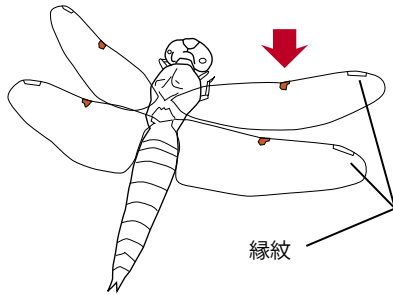
観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----

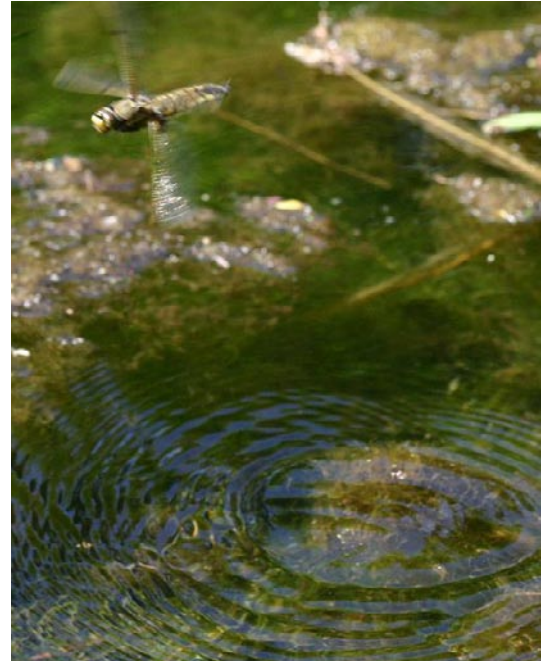


▲オス 2005.5.9 T

アブのような色合いで、腹が短め。羽の先端近くにある縁紋のほかに、中ほどにも斑紋があることから、「四つ星」の名がつく。飛び方が力強い。



長池公園では、2003年に初めて確認された。2005年にはトンボ池で産卵する様子も観察された。



▲産卵 2005.5.19 G



6 クロイトトンボ

約 30 mm

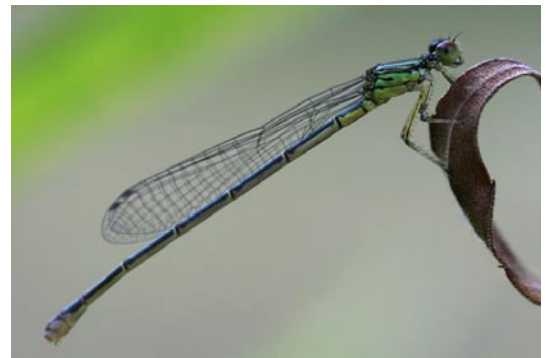
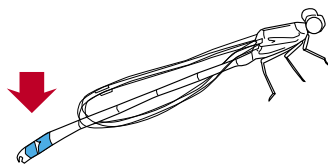
観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.6.5 T

全体的に黒っぽい小さなイトトンボ。オスはしっぽの先が2節青くなる。長池公園のイトトンボの中では最も数が多い。



▲メス 2005.8.2 G



▲ハート型になって交尾 2005.6.1 G

よく似た種 14 アジアイトトンボ・29 アオイトトンボ

★★★★

7 シオカラトンボ

約 55 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.5.15 G



▲メス 2005.5.8 T

最も普通に見られるトンボ。オスは成熟すると腹に青白い粉をふき、先から3分の1くらいが黒くなる。複眼は緑がかった青灰色。胸の側面にははっきりとした黒い筋がある。メスや未成熟なオスの腹は茶色に黒い筋が入っており、ムギワラトンボとも呼ばれる。

よく似た種 [2]シオヤトンボ・[10]オオシオカラトンボ

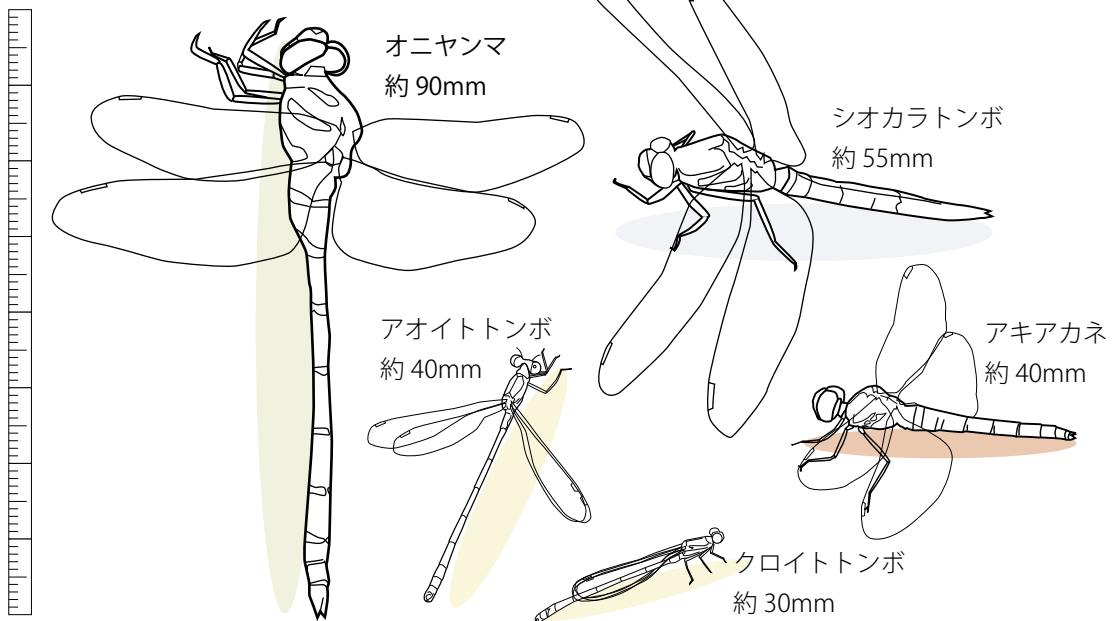
シオカラトンボの仲間 ▶ P. 9



▲羽化 2005.7.24 T

トンボの大きさ比較

トンボの体長は頭の前からしっぽの先までの長さで表します。体型のがっちりしたものと、ほっそりしたものとでは、体長が同じくらいでも、見た目の印象はかなり異なります。



5月のトンボ 3

★★★★★

8 ショウジョウトンボ

約 45 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2004.6.19 T



▲メス 2005.6.6 G



▲羽化 2005.5.29 T

オスは全身真っ赤になる。メスは成熟してもオレンジ色にしかならない。羽化直後は薄い黄色。腹がやや平べったく、羽の根元にオレンジ色の斑が少しある。胸に目立つ模様はない。6～7月に公園内で見られる赤いトンボはほとんどがショウジョウトンボ。8月に入ると、ネキトンボも交じるようになる。「ショウジョウ(猩々)」の名は中国の伝説上の獣に由来し、赤い色を表している。

よく似た種 ⑨ネキトンボ

赤トンボの見分け方 P.17



▲足が赤い(G)

★★★★

9 ネキトンボ

約 45 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 1995.8.15 T



▲メス 2005.8.23 G



▲羽化 2001.5.26 T

赤トンボの仲間。羽の根元がオレンジ色なのが名前の由来。胸の側面に太い黒い筋が1本ある。羽化直後からこの筋は確認できるので、同時期に羽化するショウジョウトンボとの区別に役立つ。オスは全身真っ赤に色づくが、メスは腹の背面がオレンジ色になる程度。ネキトンボの足は黒く、足まで真っ赤になるショウジョウトンボとは異なる。

よく似た種 ⑧ショウジョウトンボ・②②アキアカネ・②③ナツアカネ

赤トンボの見分け方 P.17

▼足が黒い(G)



シオカラトンボの仲間

シオカラトンボは、長池公園でもごく普通に見ることができるトンボです。これによく似たトンボがほかに3種いるので、まとめてみました。いずれも、未成熟な個体はオス・メスとも黄色っぽい色をしており、成熟するにしたがって腹に青白い粉をふいて色が変わってきます。

オオシオカラトンボ



2005. 6. 25 G

▼成熟オスの特徴

体長	53～57mm
体型	がっしり
複眼の色	黒～こげ茶
腹の色	濃い青・先端が少し黒い
その他	羽の根元に黒い斑紋がある

他のトンボに比べて青色が濃く、引き締まった印象がある。開けた場所よりやや薄暗い木陰のある場所を好む。シオカラトンボより数は少なく、出現時期もやや遅い。

▼メス (未成熟オスも同色)



2004. 6. 19 T

シオカラトンボ



2005. 5. 15 G

▼成熟オスの特徴

体長	50～55mm
体型	腹は先端に向けてほっそり
複眼の色	緑がかった青灰色
腹の色	青白く、先から3分の1ほどが黒
その他	胸の部分の黒い筋が目立つ

4月中旬ごろから水辺の至る所で見られる。数も多く観察できる期間も長い。地面やコンクリートの上にべったりと止まることが多い。

▼メス (未成熟オスも同色)



2005. 5. 8 T

シオヤトンボ



1997. 5. 25 T

▼成熟オスの特徴

体長	42～47mm
体型	やや太めでがっしり
複眼の色	緑がかった青灰色
腹の色	先のほうまで全体的に青白くなる

シオカラトンボとの識別ポイントは腹部。寸胴で先端に黒い部分がほとんどない。シオカラトンボより早く4月初旬ごろから現れ、7月にはほとんど見られなくなる。数は少ない。緑色の葉より、枯れ枝や地面などに止まるが多い。

▼メス (未成熟オスも同色)



2005. 5. 2 T

ハラビロトンボ



2003. 5. 20 T

▼成熟オスの特徴

体長	32～37mm
体型	腹の幅が広く、ぼっちゃり
複眼の色	黒～こげ茶
腹の色	黒い上に青い粉をふく
その他	胸は黒っぽい

上記3種に比べて小型で腹が短い、ぼっちゃり体型。5月～7月にかけて観察される。

▼メス (未成熟オスも同色)



2001. 7. 24 T